



水の事故から子どもを守る

# 子どもたちは、水遊びが大好き。でも、水のほんとうの恐ろしさは知りません。



子どもを水難事故から守るためには、家庭はもちろん、地域や社会全体で、安全に配慮してあげることが大切です。

何百メートル泳げるといふこととおぼれないこととは違います。水泳の場合も自信過剰にならないように気をつけて。



泳ぎには判断力が必要。安心して放てるのは20歳からです。お子さんの場合はいつも保護者がついてあげてください。



東京学芸大学教育学部助教授 (体育学) 柴田 義晴氏

泳ぎには判断力が必要。安心して放てるのは20歳からです。お子さんの場合はいつも保護者がついてあげてください。

夏、水と戯れる子どもたち。

いつ見ても楽しい光景ですね。

でも、水は子どもたちにとって

いつでも優しいとは限りません。

毎年、全国でたくさん

小さな命が奪われています。

いたましい事故をなくすために、

専門家の目で見られた子どもの心理や

おぼれの構造を、

3人の先生にお聞きしました。

水は子どもにとって

魅力的な素材の一つです。

昨年1年間に、越谷市消防署 このうち、2人の子どもが尊い管内で起きた水難事故は5件。命を失っています。今年に入っ

てからは、幸いにもこうした事故は起きていません。しかし、夏休みを前にして、子どもたちが水に接する機会が多くなりま

ち、このごろは、ちょっとしたはずみで転落してしまう可能性が大いにありますから、まわりの人が十分注意してあげなければなりません。また、独り歩きをするようになり、危険の予知ができない段階では、事故の危

険度が非常に高いことになりま

## 子どもの特徴や性格をよくわきまえて。

危険性も認識できるようになり、判断力が備わったからといって、万全とはいえないのが子どもです。

「子どもたちにとって、水は砂場の砂と同じように、魅力的な素材の一つなんです。肌に触れる心地よさもあるだろうし、変幻自在で、自分がかかわって形を変えられる自由度とか、物が浮かんだり、沈んだり、流されたりするこの現象など、いろいろな面で興味深い素材といえます。川には生物がいるのも魅力です。こういったことに触発され、水のある所に行きたがるし、これによって子どもの遊びが活発化することも事実です。」

「子どもは水に対して恐怖心を持たないのではありません。地面と水面との高低差がはっきりとあるような所では、赤ちゃんで恐怖心を感じます。で

ても、必要以上の恐怖心を抱かせ

す。ふだんから教育やしつけの分野で十分に知恵をつけてあげることが大切です。例えば一人が危険な所に行かない、というようなルールを家庭で決めたりすることです。

## いざというときパニックに陥らないように。

「おぼれる最大の原因は、泳げないことです。泳げない子が自ら助かることは、まず考えられませんが、第一に泳ぐ技術を身につけておいてあげることが大切です。」

「ただ、何でも泳げればよい一般に心臓マヒといわれるもの





州武 越谷宿

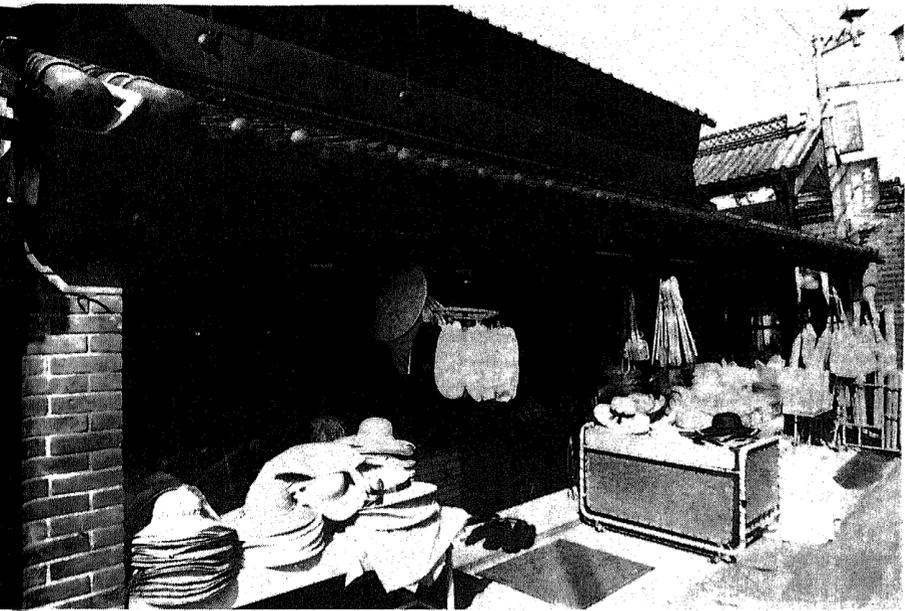
タウン ウオッチング

江戸・日本橋から六里。日光街道の宿場町として栄えた越谷。街道筋には、幾世代も続いた老舗や由緒あり気な仕舞屋がある。そんな町をウォッチングしてみると……。



間口が狭く 奥行きが広い家

国道足立線沿線に宿場が並ぶ。互いの間口を狭くし、奥行きを長くする。越谷宿の宿場町は、江戸時代からこの間口が狭く、奥行きが広い家が多い。



中瀬治忠商店

間口が狭く、奥行きが広い家は、江戸時代から宿場町に多く見られる。これは、馬車や荷物の運搬に有利な構造であった。



越ヶ谷本町の旧家・遠藤家

土蔵づくり レンガの防火壁

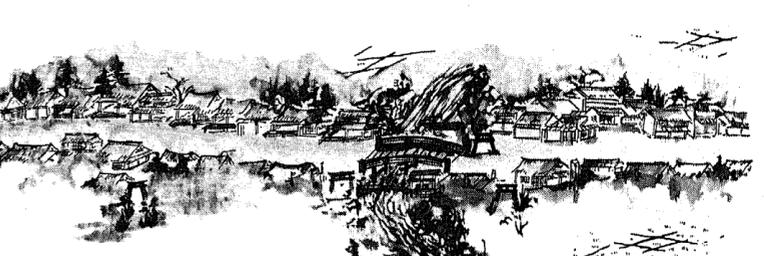
越谷宿は、江戸時代から防火意識が強い町であった。土蔵づくりのレンガ壁は、火災を防ぐための重要な要素であった。

数多くの神社

越谷宿には、数多くの神社が点在している。これは、宿場町としての繁栄と信仰の篤さを示している。

日光道中越谷宿 資料

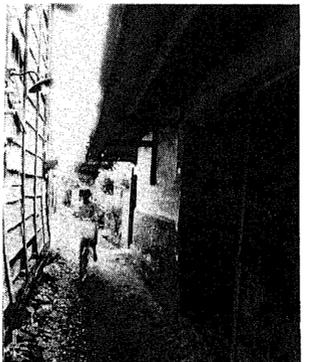
越ヶ谷・大沢の2町で宿を形成。瓦葺根境から元荒川まで越ヶ谷町全長9町20間(約1018m)、元荒川から大沢村境まで大沢町全長9町27間(約1030m)。道幅およそ5間。大沢町の北から上宿、中宿、下宿、越ヶ谷町北から本町、中町、新町。宿場の機能は伝馬継立(公用の交通・運輸のための人馬・施設)。本陣：越ヶ谷会田八右衛門(安永まで)、大沢町大松屋福井権右衛門。脇本陣：越ヶ谷本町四ツ目屋(浜野)、大沢町大松屋。安永以降、大沢町虎屋(山崎)、大沢町玉屋彦右衛門(深野)。元禄8年(1695)の検地で、越ヶ谷町高1598石6斗5升3合、反別186町9畝22歩、うち14町8反3畝16歩が屋敷地。大沢町高1064石6斗1升9合、反別147町1反1歩、うち9町4反1畝28歩が屋敷地。家数：越ヶ谷町549軒、大沢町481軒(文化・文政年間)。



図は寛延4年(1751)の越谷宿のようす。中央を流れるのが元荒川。左側が大沢、右は越ヶ谷。

街道筋に残る 昔ながらの商家

街道筋に残る昔ながらの商家。これらの商家は、江戸時代から宿場町を支えてきた重要な存在であった。



路地を入ると大きな土蔵がある(越ヶ谷本町で)

土蔵は、江戸時代から防火意識が強い町であった。土蔵づくりのレンガ壁は、火災を防ぐための重要な要素であった。

雨乞い

雨乞い。江戸時代は、農業と関係が深い。雨乞いの儀式は、地域の文化と信仰の表れであった。



久伊豆神社にある精誠感応の碑(干ばつについて記されている)

雨乞いの儀式は、地域の文化と信仰の表れであった。この儀式は、雨を乞うための重要な手段であった。

越谷とわたし

「越谷とわたし」では、あなたの投稿をお待ちしています。内容はなんでも結構。字数は800字前後。



このまちで生まれたばかりでなく、多感な青春時代を過ごす越谷は、子どもたちにとって紛れもない「ふるさと」です。と根岸さん

越谷での二〇〇年

越谷での二〇〇年。新開地(八丁)と宿場町(本町)の融合。この二つの地域が、越谷の発展を支えてきた。

歳時記

なつまつり

なつまつり。夏祭り。勇壮な天王様、伝統の獅子舞。この祭りは、越谷の文化と伝統の表れである。



なつまつり。夏祭り。勇壮な天王様、伝統の獅子舞。この祭りは、越谷の文化と伝統の表れである。

移動教室に 参加しませんか

移動教室。7月21日(火)午前9時、市役所玄関前に集合。解散は午後3時50分ごろ。見学コースは、①越谷総合食品地方卸売市場、②見田方遺跡公園、③越谷青年の家、④宮内庁埼玉馬場、⑤児童館コスモス。定員は30名(申込み順)。申込みは7月7日(火)から、電話で広報広聴課②214へ。参加は無料です。昼食、筆記用具は各自で用意ください。

遊びながら科学する 児童館コスモス。次代を担う子どもたちに夢とロマンをほぐくむ「子どもの城」を、と5月にオープンした市立児童館「コスモス」が連日たくさんの子どものためにぎわっています。館の名前のコスモスは宇宙をあらわし、子どもたちの健全育成と科学する心を培おうという願いが込められています。児童館コスモスの特色は、楽しみながら科学の体験学習ができること。天体観測やプラネタリウムなどのほか、3階にはいろいろな科学の実験道具があります。たとえば、引力の観察、電波と音、発電所から電気が届くまで、磁石のいろいろ、電話交換機のおもしろい、テレビ電話、ファクシミリなど。ほかにも、日常何気なく見逃している科学の不思議が、ここでは簡単な実験道具を使って体験することができます。小さいころから科学に興味をもちたい。遊びながら物事の原理を体験してもらおうというものです。みなさん、同じ大きさなのに重さが違うものがありますか? それにはどんなわけがあるのか、考えながら確かめてみてはいかがでしょうか。

科学技術週間を記念して行われた県のコンクールで絵画の部の知事賞をとる



新築中2年 本間淳子さん

「受賞した絵は、未来の町並みをかいたものです。絵が好きで美術部で活躍。イラストやポスターも作ります。賞をもらって嬉しかったです。父や母も喜んでくれました。双子の姉も美術部で活躍しています。将来の希望は、音楽や美術に興味があります。現在音楽も好きです。それ以外に家庭科も……」



米国タルサから交換学生14人が越谷訪問

青少年の国際交流を促進しようとして、越谷ロータリークラブ（小野田正三会長）の招きで、アメリカのオクラホマ州タルサから交換学生が越谷市を訪れました。一行は11歳から14歳までの学生14人と付き添い4人。滞在中の6月16日には市内の神社や児童館、中学校などを訪問しました。

タルサ市へは、今年3月に越谷ロータリークラブの青少年派遣として、市内の中・高校生20人が訪問したことがあります。6月24日に帰国。



【第29回花の展覧会入賞者】  
 ▼埼玉県知事賞 小島康男（南荻島）  
 ▼埼玉県花き連合会会長賞 小島理一（南荻島）  
 ▼越谷市長賞 石塚慎一（相模町2丁目）  
 ▼越谷市議会議長賞 加藤政夫（大沢）  
 ▼越谷市農業委員会会長賞 森田幸男（小曾川）  
 ▼春日部農業改良普及協議会長賞 松沢欣司（南荻島）  
 ▼越谷市農業技術者協議会長賞 松沢一（南荻島）  
 ▼越谷市長賞 松沢一（南荻島）

市農業団体連合会会長賞 山口儀明（東越谷8丁目）  
 ▼金子章蔵（南荻島）  
 ▼越谷市農業協同組合会長賞 新井彰（南荻島）  
 ▼川柳農協同組合会長賞 須賀茂利（東越谷3丁目）  
 ▼花き部会長賞 大熊春夫（南荻島）  
 ▼荻島正義（小曾川）  
 ▼須賀福松（東越谷3丁目）  
 ▼鈴木勇（北後谷）  
 6月23・24日市役所ロビーで

【第11回勤労者つり大会結果】  
 ▼優勝 土屋博（1220号・下間久里）  
 ▼準優勝 田中省治（1060号・大成町7丁目）  
 ▼3位 マスターズキョ（1000号）  
 ▼4位 時田一三（990号・大沢3丁目）  
 ▼大物賞 大澤洋次（410号・柳町）  
 ▼へらぶな賞 中屋勝秋（200号・下間久里）  
 6月14日豊西用水で

9月から土、日、祝日の申込み方法が変わります  
**県民健康福祉村テニスコート**

県民健康福祉村のテニスコートの利用申込み方法が変わります。

9月の利用から土、日、祝日の分は申込みの方の中から抽選で決定します。

〈申込み方法〉

- ①申込みはがき1枚に1回（半日、1面）
- ②平日の利用申込みは従来どおり申込み

〈問合せ・申込み先〉  
 越谷市北後谷82  
 埼玉県民健康福祉村  
 62-0294

まちのわだい

まちのわだい

まちのわだい

みんなにちがさん  
 すこやか

美帆（みほ）ちゃん（60・10・18生）。赤山町一丁目の松沢進・洋子さんの長女。「お話しも上手になり、みんなを楽しませてくれます」。

美加（みか）ちゃん（61・2・24生）大房の千明一宏・好江さんの長女。「大好きなカッパさんと一緒。今年の盆踊りは私におまかせ」。

ホームドクター

55

越谷市医師会  
 佐々木憲孝

**太陽光線と皮膚**

紫外線はビタミンDの合成に関与し、ケル病や骨軟化症を予防します。また、適度の日光浴は、高血圧を抑え、血中のコレステロールを少なくし、自律神経を安定させ、筋肉も強くする……といわれています。しかし、紫外線が皮膚に過度に作用すると、皮膚がんや皮膚老化の原因となります。また、日焼けによる皮膚のダメージは、肌の細胞を破壊し、日焼けを繰り返すと、肌の老化を促進させ、シミやシワの原因となります。

日焼けは、肌の自衛作用です。表皮最下層のメラノサイトが刺激されて、黒色のメラニン色素が表皮に出て、皮膚が黒くなることによって、紫外線の役割をして、有害な紫外線を防いでくれるのです。

アメリカでは、数年前から皮膚がんとの関連が言われているので、日焼け美人はやはり、みんな焼かない努力をしています。他方、緯度が高くて、太陽光線の弱いヨーロッパでは、小麦色の健康的な肌がお金持ちの象徴なので、きれいに焼くことを競っています。欧州のパカンスは長いので水泳、登山、ヨット遊びなどに3〜4週間かけてゆっくりと行きます。

日焼けは、肌の自衛作用です。表皮最下層のメラノサイトが刺激されて、黒色のメラニン色素が表皮に出て、皮膚が黒くなることによって、紫外線の役割をして、有害な紫外線を防いでくれるのです。

アメリカでは、数年前から皮膚がんとの関連が言われているので、日焼け美人はやはり、みんな焼かない努力をしています。他方、緯度が高くて、太陽光線の弱いヨーロッパでは、小麦色の健康的な肌がお金持ちの象徴なので、きれいに焼くことを競っています。欧州のパカンスは長いので水泳、登山、ヨット遊びなどに3〜4週間かけてゆっくりと行きます。

鳴戸親方（元横綱隆の里）

「私、自分で横綱になったと思っていますが、そのためには、いろいろな人が、自分の健康に携わってくれた方、お医者様、それから師匠、あのとき厳しく指導してくれた、若いころ、まだ若いけど甘えを許さなかった師匠の教え、また、それをおかみさんはカバーしてくれました。双子山親方のおかみさんは、いろいろな面でカバーしてくれました。それと、旧友、ふるさとですね。そういう人たちのことがあって、私も白い綱を張って国技館で土俵入りしたんだ、そのように思っています。私、いつもそう思っています。いろいろな、男女の交際でも、つまみ食いしたり、対人関係で、人に裏切られたり、自分から去っていったり、世の中の人から冷たくなったり、いろいろなことがありますが、プライドを傷つけられたり、それでもね、我慢して、明日を信じて、未来を信じてがんばっていく、そうすることによって、きつとにかつかめると思っています」。

見聞録

辛抱する木は花が咲く

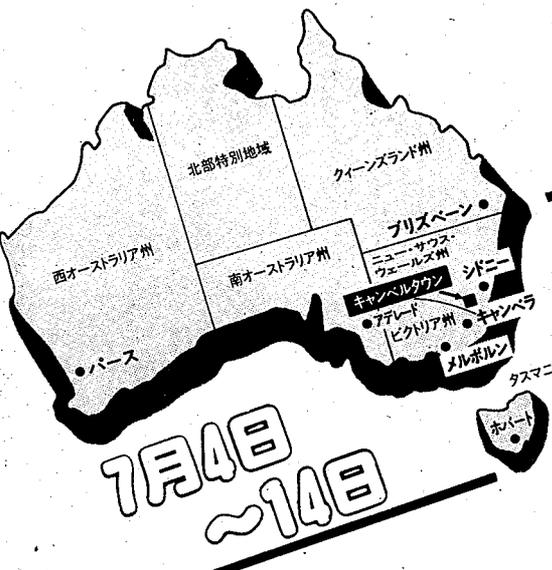
5月28日サンシティ「市民の寺子屋」で

先の未来を、明日を信じてがんばるべきだと思えます。私は、いつもそう思っています。いろいろな、男女の交際でも、つまみ食いしたり、対人関係で、人に裏切られたり、自分から去っていったり、世の中の人から冷たくなったり、いろいろなことがありますが、プライドを傷つけられたり、それでもね、我慢して、明日を信じて、未来を信じてがんばっていく、そうすることによって、きつとにかつかめると思っています」。





# キャンベルタウンから 青少年使節団がやって来る。



私たちがキャンベル  
タウンから来ます。

キャンベルタウン市から青少年の使節団がやって来るのは、3回目。今回は14歳から17歳の男の子2人、女の子11人の合計13人がやって来ます。

- 下の写真で、上段右から、ジョン・A・スクージャくん(14歳)、ジャスティン・マシューズくん(14歳)、メラニー・スコットさん(14歳)、ヘレン・ゲナンさん(14歳)、ジエニファー・アダムズさん(15歳)、中段右から、アマンダ・H・アルベスさん(15歳)、ミシェル・ドゥさん(16歳)、エリカ・シュールテンさん(16歳)、ミシェル・タプロスキーさん(16歳)、メ

7月4日に越谷市の姉妹都市、オーストラリアのキャンベルタウン市から、青少年使節団がやって来ます。一行は14歳から17歳の13名です。また、8月には越谷市からも10人の中、高、大学生がキャンベルタウン市を訪問します。今回は、キャンベルタウンからやって来る使節団の日程、そして、越谷からキャンベルタウンに派遣される若者たちの抱負などを紹介いたします。



- ーガン・ジョーンズさん(17歳)、下段右から、アンマレー・クイックさん(17歳)、ミシェル・レノンさん(17歳)、フリス・ホンさん(17歳)です。一行が越谷へ到着するのは7月4日。7月14日までの10日間、市内見学をしたり、東京見物に行ったりする予定です。

まず、5日には、キャンベルタウン公園で歓迎会。6日と7日は、あたら高高原少年自然の家に行きます。ここで、日本の自然に親しんでもらい、日本の習慣や食べ物にも慣れさせてあげようというわけです。10日には中央中、千間台中、大袋中を訪問します。みんなの英語が通じるかな。

市内での宿泊はホスト宅でホームステイが中心です。このホストは広報で一般公募しまし

- ホームステイ先一覧
- 堀田速雄さん宅 (越ヶ谷)
  - 藤井洋武さん宅 (大沢)
  - 山本 卓さん宅 (弥十郎)
  - 小川隆雄さん宅 (宮本町4丁目)
  - 高橋憲一郎さん宅 (瓦首根2丁目)
  - 光安俊夫さん宅 (恩間)
  - 菊地 大さん宅 (瓦首根2丁目)
  - 和田 実さん宅 (弥栄町3丁目)
  - 横山文夫さん宅 (越ヶ谷3丁目)
  - 浪崎亨一さん宅 (新川町2丁目)
  - 渡辺孝雄さん宅 (千間台西4丁目)
  - 中野 功さん宅 (蒲生2丁目)
  - 寺内穂昌さん宅 (千間台西6丁目)

## キャンベルタウン

WALKING TOGETHER

## こしがや

# 姉妹都市交流は わたしたちの手で!

私たちがキャンベル  
タウンへ行きます。



本橋 良子  
千間台中  
2年

「英語もあまり満足に話さることができない私ですが、一所懸命、片言でも話してみようと思っております。」



佐々木 弘  
大相模中  
2年

「広々とした所に一人ポツンと大自然にひたる。生活が違い、言葉が違い人間そのものが違う美しい国で発見を広い視野におさめたいです。」



吉沢 里奈  
大袋中  
2年

「オーストラリアへ行った、向こうでできる限りのことを吸収していきたいです。また、行くまでに越谷のことでよく勉強して、向こうの人に越谷のことを少しでもわかってもらえようようにしたいです。」



石橋 俊文  
平方中  
3年

「せっかくこのようなチャンスにめぐりあえたのだから、いろいろなことを自分の目で見て、少しでも多くのことを学んできたいと思えます。」



高木 垂希子  
花田  
高校2年

「これに選ばれて、今不安と期待でいっぱい毎日を送っています。十日間という短い期間ですが、体験してきたことをたくさん吸収し、今後のこと役立てたいと思います。」



斎藤 暁  
千間台西4丁目  
高校2年

「飛行機を降りると、これは異国、オーストラリア! 近ごろそんな光景がしょっちゅう頭をよぎります。小さな国際人としてほんの少しでも足跡を残すことができれば幸いです。」



関根 小織  
南荻島  
高校1年

「なんといってもパスポートを取れることがうれしいです。それに恥じないような行動をとってきたいと思えます。そして、これからもそのパスポートを有効に使えるような国際人になってきたいと思えます。」



井関 廣子  
大沢  
高校2年

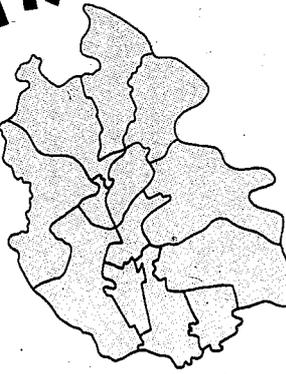
「私にとって大きな問題は話せるか、なのですが、そのころはほとんど度胸ががんばらうと思えます。少しの間ですが、やってよかったと思えるものになりたいと思えます。」



大館 慶子  
北越谷2丁目  
大学2年

「中学時代から行ってみたい

# 夏休みには越谷からも 青少年を 派遣。



8月1日から10日まで、越谷市から10人の青少年がキャンベルタウン市へ派遣されます。一行は中学生から大学生で男1人、女9人。男の子が少ないのがちょっと寂しいね。でも立派に国際交流の役割を果たしてくれるでしょう。では行く前の抱負をひと言。

### 楽屋裏

今号の特集は「水の事故から子どもを守る」。異常な大雨とはいえ、川には水があまりありません。川で遊んでいる子どもを見つけたら注意してやりたいものです。▼市役所では7月1日付で人事異動。課や係が変わると、仕事もまた違ってしまつ場合もあります。しばらくの間は、市役所に行つて窓口で質問しても、要領を得ないことがあるかもしれません。すぐに慣れると思えます。ご容赦を。▼かく言う私も異動する一人。広報係で5年3ヵ月お世話になりました。慣れた職場を離れるのはちょっと不安でさみしいもの。でも、これからは新しい課でがんばります。取材などでお世話になった皆さん、どうもありがとうございます。これからも「広報こしがや」をよろしく。(C)

竹村昭治先生  
「元気に行つてまいります」  
引率をまかすのは、富士中学校の竹村先生です。

「キャンベルタウンは、たいそうすばらしいところと聞いています。いろいろなことを見学し、多くのごことを学んで、そして日本のこともしっかり伝えてきたいと思えます。国際交流の小さなかけ橋になればと思えます。」

小河原 令子  
越ヶ谷2丁目  
大学1年





